

事業名：町名板再整備事業

区画整理指導課 区画整理指導係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	04 市街地整備の充実								
基本事業	04 人にやさしく、わかりやすい街並みづくり								
開始年度	平成10年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・来訪者

手段（事務事業の内容、やり方）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付
2. 道路管理者及び公安委員会の協議後、市街化区域内（周辺部を含む）の定周期信号機に町名板を設置

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市内来訪者等が町名や地番がわかる状態になる

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市民	人	121,705	121,385	120,802	120,802
対象指標2						
活動指標1	街区型町名板整備数	枚	24	28	143	337
活動指標2	信号機型町名板整備数	ヶ所	1	7	6	5
成果指標1	所在確認の問い合わせ件数	件	20	20	15	15
成果指標2						
事業費(A)		千円	515	2,698	3,565	3,207
正職員人件費(B)		千円	2,408	2,405	1,563	2,738
総事業費(A+B)		千円	2,923	5,103	5,128	5,945

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・街区町名板：整備状況調査、貼付意向調査、貼付 ・信号機型町名板の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・街区町名板製作：376千円 ・意向調査郵便代：88千円 ・整備状況調査、貼付等委託料：3,100千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。	
事業を取り巻く環境変化	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 町名や地番の周知をすることは、他に担い手がないため、市の役割である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 費用対効果を踏まえると、わかりやすい街並み整備を行う手段が他にはないため貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 問い合わせ件数の減少。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 現在、年次計画に基づき整備をしており、整備途上の為、成果は上がる。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 平成24年度以降について、既に費用対効果の検証により耐久性のある材料を採用し、コスト削減を図っているため。